



平成 20 年 9 月 11 日

各 位

会 社 名 ミライアル株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 兵部行遠  
( J A S D A Q ・ コード 4 2 3 8 )  
問 い 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 常務取締役経理部長 脇 新市  
電 話 番 号 0 3 ( 3 9 8 6 ) 3 7 8 2

## 平成21年 1 月期通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 3 月 13 日付当社「平成 20 年 1 月期決算短信」において発表いたしました平成 21 年 1 月期(平成 20 年 2 月 1 日 ~ 平成 21 年 1 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1 . 平成21年 1 月期 連結業績予想の修正 (平成20年 2 月 1 日 ~ 平成21年 1 月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 ( A )	19,220	5,270	5,372	3,267
今回修正 ( B )	16,243	3,207	3,395	2,101
増減額 ( B - A )	2,976	2,063	1,977	1,166
増減率	15.5%	39.1%	36.8%	35.7%

#### 2 . 修正理由

当連結会計年度における連結業績予想の修正理由は以下のとおりであります。

売上高につきましては、主力の半導体関連製品は、昨年夏以降、半導体デバイスの生産調整の動きが強まり、市況の低迷が続いております。また、サブプライム問題の影響が長期化し、北米の景気が低迷を続けており、世界的にも一層の不透明感が継続しており、半導体需要の回復は予想以上に遅れる見込みです。売上高は、個別業績予想の修正理由を要因とし、前回予想との比較におきましては、29 億 76 百万円下回り 162 億 43 百万円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高の減少に伴い設備投資の縮小、経費削減の強化を実施し、収益向上に努力してまいりますが、個別業績予想の修正理由を要因とし、営業利益は前回予想を 20 億 63 百万円下回る 32 億 7 百万円となる見込みであり、経常利益は前回予想を 19 億 77 百万円下回る 33 億 95 百万円となる見込みであります。

当期純利益は、上記の経常利益が減少したことにより、前回予想を 11 億 66 百万円下回る 21 億 1 百万円となる見込みであります。

3. 平成21年1月期 個別業績予想の修正（平成20年2月1日～平成21年1月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	16,220	5,180	5,178	3,114
今回修正（B）	12,897	3,137	3,205	2,002
増減額（B - A）	3,322	2,043	1,973	1,112
増減率	20.5%	39.4%	38.1%	35.7%

4. 修正理由

当事業年度における個別業績予想の修正理由は以下のとおりであります。

売上高につきましては、上期は、シリコンウエハの需要が低調に推移し、出荷容器の出荷量の減少で推移いたしました。下期ではPC需要や音楽、携帯電話端末の増産によって、メモリーのNANDフラッシュやDRAM等の価格の下げ止まりが見込まれ、シリコンウエハの需要は再び拡大に向かうと予想しておりましたが、世界的な景気の減速感から当初見込みより半導体業界の低迷状態が長引くものと予想され、当社主力製品300mmシリコンウエハ出荷容器（FOSB）の売上は、計画に比べて減少する見込みとなりました。売上高は前回予想との比較におきましては、33億22百万円下回り128億97百万円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高の減少に伴い設備投資の縮少、経費削減の強化を実施し、収益向上に努力してまいりますが、売上高の減少をカバーできなかったため、営業利益は前回予想を20億43百万円下回る31億37百万円となる見込みであり、経常利益は前回予想を19億73百万円下回る32億5百万円となる見込みであります。

当期純利益は、上記の経常利益が減少したことにより、前回予想を11億12百万円下回る20億2百万円となる見込みであります。

以 上